

2026年3月2日
スカパー J S A T 株式会社

2026年プロ野球がまもなく開幕！

「スカパー！プロ野球開幕直前 12球団ファン調査 2026」

- 2026年ファンの優勝予想は、セ・リーグ**阪神**、パ・リーグ**福岡ソフトバンク**
- 国際大会で活躍が期待される1位は**伊藤 大海選手**（北海道日本ハム）
- スカパー！30周年にちなみ、「30」にまつわる**選手・名場面**についても調査

スカパー J S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉英一、以下「スカパー！」）は、2026年プロ野球シーズンの開幕を前に、全国のプロ野球12球団のファンを対象とした「スカパー！プロ野球開幕直前 12球団ファン調査 2026」を実施いたしました。

本調査では、セ・パ両リーグの優勝予想をはじめ、国際大会での活躍期待選手、ルーキー・トリプルスリー候補など2026年シーズンへのファンの期待を明らかにしました。

さらに、スカパー！30周年を記念し、「30」にまつわる特別調査も実施。30歳で活躍が期待される選手や、過去30年の名場面など、プロ野球における過去と現在をつなぐ結果となりました。

プロ野球ファンが選ぶ！

2026年シーズン、活躍を期待する球団・選手

セ・リーグ優勝予想(n=600)		パ・リーグ優勝予想(n=600)		国際大会での活躍を期待する選手 (n=600)	
球団名	票数	球団名	票数	選手名	票数
阪神	50.5%	福岡ソフトバンク	38.3%	伊藤 大海（北海道日本ハム）	12.5%
巨人	12.0%	北海道日本ハム	31.8%	佐藤 輝明（阪神）	11.7%
横浜DeNA	8.7%	オリックス	8.5%	牧 秀悟（横浜DeNA）	10.0%
中日	6.7%	楽天	4.5%	近藤 健介（福岡ソフトバンク）	7.8%
広島	3.0%	埼玉西武	3.2%	高橋 宏斗（中日）	7.8%
東京ヤクルト	3.0%	千葉ロッテ	3.2%	周東 佑京（福岡ソフトバンク）	6.8%
わからない	16.2%	わからない	10.5%	種市 篤暉（千葉ロッテ）	4.8%

スカパー!
30TH ANNIVERSARY

■調査概要

調査タイトル：スカパー！プロ野球開幕直前 12球団ファン調査 2026

調査対象：NPB 全12球団のプロ野球ファン

調査期間：2026年2月10日～2026年2月16日

調査方法：インターネット調査

有効回答数：600サンプル（各球団50サンプル）

調査主体：スカパー J S A T 株式会社

調査委託先：株式会社ジャストシステム

※本調査レポートの百分率表示は、小数第2位で四捨五入の丸め計算を行っています。

<調査クレジットのお願い>

※本資料の内容を転載いただく際には、出典として「スカパー！プロ野球開幕直前 12球団ファン調査 2026」と表記いただけますよう、お願い申し上げます。

<サマリー>

① 2026年シーズンの行方は？セ・パ優勝予想

2026年セ・リーグ優勝予想1位は**阪神**、パ・リーグでは**福岡ソフトバンク**が最多支持を獲得。昨年の優勝チームが連覇するという予想に。

② 2026年シーズンのプロ野球界の主役は？

国際大会で活躍が期待されるNPB選手1位は**伊藤 大海選手**（北海道日本ハム）となり、国際舞台への関心の高さもうかがえる結果となった。即戦力ルーキーとして期待される選手1位は**立石 正広選手**（阪神）、さらにトリプルスリーに最も近い選手では**佐藤 輝明選手**（阪神）が最も票を集めた。

③ スカパー！30周年記念“30”で振り返るプロ野球

スカパー！30周年を記念し、“30”にまつわる特別調査を実施。30歳で活躍が期待される選手1位は**中野 拓夢選手**（阪神）が最多回答に。さらに過去30年で最も印象に残る名場面では1996年の長嶋監督のもとで達成した、**巨人のメークドラマ**が挙げられ、根強いファンが多いことが分かった。

■2026年シーズンの行方は？ファンの優勝予想を大公開！

■2026年シーズンの優勝予想、セ・リーグは大差で阪神！パ・リーグは2チームが拮抗！

セ・パ両リーグそれぞれの優勝予想について聞いたところ、セ・リーグは**1位阪神**、**2位巨人**、**3位横浜DeNA**という結果になりました《図表1》。阪神は**50.5%**と全体の半数以上を占め、ファンの間では昨年王者が圧倒的な1位となりました。一方でパ・リーグは**1位福岡ソフトバンク**、**2位北海道日本ハム**、**3位オリックス**という結果に《図表2》。

特に1位福岡ソフトバンクと2位北海道日本ハムの差はわずかに**6.5%**となり、昨年優勝争いでデッドヒートを繰り広げた両チームが、今季もファンの間では注目度が高いことが分かりました。

《図表1》Q.2026年シーズン、セ・リーグの「優勝球団」はどこだと思いますか。(SA/n=600)

球団名	票数
阪神	50.5%
巨人	12.0%
横浜DeNA	8.7%
中日	6.7%
広島	3.0%
東京ヤクルト	3.0%
わからない	16.2%

《図表2》Q.2026年シーズン、パ・リーグの「優勝球団」はどこだと思いますか。(SA/n=600)

球団名	票数
福岡ソフトバンク	38.3%
北海道日本ハム	31.8%
オリックス	8.5%
楽天	4.5%
埼玉西武	3.2%
千葉ロッテ	3.2%
わからない	10.5%

■2026年シーズンのプロ野球界の主役は誰？

■国際大会で最も期待される選手は、伊藤 大海選手！

3月に開催される国際大会での活躍を期待しているNPBの選手を聞くと、**1位伊藤 大海選手（北海道日本ハム）、2位佐藤 輝明選手（阪神）、3位牧 秀悟選手（横浜DeNA）**という結果になりました《図表3》。伊藤 大海選手を選んだ理由にファンは「日本ハムのエースとなり、レベルが一段上がった」や「**大谷選手に負けない活躍を見せてくれる**」と日本代表のエースとしての期待感が見られました。

また、2位の佐藤 輝明選手には「ホームランを打ってくれそう」、3位の牧 秀悟選手には「チャンスに強い」という声が寄せられました。

《図表3》Q.2026年の国際大会での活躍を最も期待している今シーズン日本プロ野球の12球団に所属している選手を教えてください。(SA/n=600)

選手名	票数
伊藤 大海（北海道日本ハム）	12.5%
佐藤 輝明（阪神）	11.7%
牧 秀悟（横浜DeNA）	10.0%
近藤 健介（福岡ソフトバンク）	7.8%
高橋 宏斗（中日）	7.8%
周東 佑京（福岡ソフトバンク）	6.8%
種市 篤暉（千葉ロッテ）	4.8%

■2025年ドラフト、アメリカでプレーをしていた佐々木麟太郎を抑えた1位は阪神のあの選手。

2026年シーズンに最も活躍しそうなルーキーについて聞くと、**1位は立石 正広選手（阪神）、2位は佐々木 麟太郎選手（福岡ソフトバンク）3位は石垣 元気選手（千葉ロッテ）**となりました《図表4》。

ドラフトで3球団が競合し、アマチュアNO.1打者として注目されていた、立石選手が開幕前からファンの高い期待を集める結果となりました。選んだ理由にファンは「素材の高さは間違いない」や「**風格がある**」といった声が寄せられました。

また、現在アメリカでプレーしている佐々木選手についても高い関心が寄せられており、国内組に限らず、将来性の高い若手スター候補への期待がうかがえる結果となりました。

《図表4》Q.2025年にドラフト指名された選手の中で、最も早く1軍で活躍をしそうな選手は誰ですか。(SA/n=600)

選手名	票数
立石 正広（阪神）	10.7%
佐々木 麟太郎（福岡ソフトバンク）	8.7%
石垣 元気（千葉ロッテ）	6.7%
竹丸 和幸（巨人）	6.5%
中西 聖輝（中日）	5.8%
藤原 聡大（楽天）	4.5%
小島 大河（埼玉西武）	4.0%
小田 康一郎（横浜DeNA）	3.7%
松下 歩叶（東京ヤクルト）	3.5%
平川 蓮（広島）	3.3%
大川 慈英（北海道日本ハム）	2.2%
藤川 敦也（オリックス）	2.0%
その他	0.2%
わからない	38.3%

■2026年シーズン、「トリプルスリー」に最も近い選手は昨年の本塁打王！

2018年に山田哲人選手（東京ヤクルト）の達成以来、8年間達成者が出ていない「トリプルスリー」。こうした状況の中、トリプルスリー達成に最も近い選手について聞くと、**1位佐藤 輝明選手（阪神）、2位は万波 中正選手（北海道日本ハム）、3位は上林 誠知選手（中日）**となりました《図表5》。

1位の佐藤選手は昨季40本塁打を放つなど飛躍の1年を送りました。さらに10盗塁を記録するなど走力面でも存在感を示し、ファンは打率や盗塁面の上積みにも期待を寄せていることがうかがえる結果となりました。

《図表5》Q.今シーズン、「トリプルスリー」に最も近いと思う選手は誰ですか。(SA/n=600)

選手名	票数
佐藤 輝明（阪神）	20.0%
万波 中正（北海道日本ハム）	14.5%
上林 誠知（中日）	5.7%
梶原 昂希（横浜DeNA）	3.3%
野村 勇（福岡ソフトバンク）	3.3%
中村 奨成（広島）	3.0%
石塚 裕惺（巨人）	2.8%

■スカパー!30周年記念 “30”で振り返るプロ野球

■背番号30で思い浮かべるダントツ1位は怪物と呼ばれたあの選手！

背番号30で想起されやすい選手について聞いたところ、1位は江川卓選手、2位は郡司裕也選手、3位はアロンゾ・パウエル選手となりました《図表6》。

ダントツで1位となった江川選手は、1979年に読売ジャイアンツへ入団。伸びのあるストレートを武器に“怪物”の異名を取り、1981年には20勝を挙げるなどエースとして活躍しました。沢村賞をはじめ主要タイトルを獲得し、80年代のプロ野球を象徴する存在として強い印象を残しています。

《図表6》あなたが「背番号30」で最も思い浮かびやすい選手を教えてください。(SA/n=600)

選手名	票数
江川卓	52.2%
郡司裕也	3.7%
アロンゾ・パウエル	3.2%
廣岡大志	3.0%
長谷川勇也	2.0%
小林雅英	2.0%
一岡竜司	1.8%

■節目の30歳、最も期待を集めたのは昨季優勝の立役者。

最も期待している今年30歳の選手について聞くと、1位は中野拓夢選手(阪神)、2位は高橋光成選手(埼玉西武)、3位は栗原陵矢選手(福岡ソフトバンク)となりました《図表7》。

中野選手は昨年、ベストナインとゴールデングラブ賞を受賞し、チームの顔となりました。2026年シーズンも多くファンが連覇に貢献する活躍を期待していることが分かりました。2位の高橋光成選手、3位の栗原陵矢選手も30歳となり、投打の軸としてチームをけん引する存在として期待が寄せられています。

《図表7》今年、30歳を迎える選手の中であなたが最も期待している選手を教えてください。(SA/n=600)

選手名	票数
中野拓夢(阪神)	10.3%
高橋光成(埼玉西武)	8.2%
栗原陵矢(福岡ソフトバンク)	7.3%
頓宮裕真(オリックス)	6.7%
栗林良吏(広島)	6.7%
ライデル・マルティネス(巨人)	6.0%
小島和哉(千葉ロッテ)	5.7%

■近年30年間の名シーン1位は、流行語にもなったあの出来事！

30年間で最も記憶に残っているシーンについて質問したところ、1位が【巨人】長嶋監督による最大11.5ゲーム差を逆転してのリーグ優勝、いわゆる「メークドラマ」(1996年)となりました。シーズン終盤に大逆転を果たし、流行語にもなったこの出来事は、プロ野球史に残る象徴的な優勝劇として現在も語り継がれています。

2位は【楽天】前日先発の田中将大選手が9回に登板し、球団創設後初の日本一を決めた試合(2013年)でした。創設からわずか9年目での日本一達成という歴史的な瞬間であり、東日本大震災後の東北を本拠地とする球団の優勝としても大きな節目となった試合です。

3位には【阪神】岡田監督が38年ぶりの日本一を果たしたシーン(2023年)という結果となりました《図表8》。

《図表8》Q.近年30年のプロ野球の試合で、あなたが最も「記憶に残っている」名シーンは何ですか。(SA/n=600)

西暦	名シーン	票数
1996年	【巨人】長嶋監督首位と最大11.5ゲーム差を逆転し、リーグ優勝。 「メーケドラマ」が新語・流行語大賞を受賞	17.7%
2013年	【楽天】 前日先発であった田中将大選手が9回に登板し、球団創設後初の日本一	12.5%
2023年	【阪神】 岡田監督 38年ぶりの日本一	8.8%
2007年	【中日】 山井選手・岩瀬選手 完全試合リレーで日本一	7.8%
2001年	【近鉄】 北川博敏選手 代打逆転サヨナラ満塁優勝決定HR	6.3%
2016年	【北海道日本ハム】 大谷翔平選手 1番投手で初回先頭打者HR	6.3%
2022年	【千葉ロッテ】 佐々木朗希選手 完全試合達成	5.5%
2024年	【横浜DeNA】 シーズン3位から下剋上で日本一	5.5%
2022年	【東京ヤクルト】 村上宗隆選手 56号	5.0%
2016年	【広島】 緒方監督 25年ぶりの優勝	4.7%
2022年	【オリックス】 神宮で26年ぶりの日本一	3.3%
2011年	【福岡ソフトバンク】 中日を破り、ソフトバンクとして初の日本一	3.0%
2019年	【埼玉西武】 中村剛也選手通算400号サヨナラ本塁打	2.0%

■「ここぞ」の一打は誰だ？ スカパー！ サヨナラ賞 最有力候補

■1位はチャンスに強いあの選手！

2026年シーズン「ここぞ」という場面でサヨナラ打を決めてくれそうな「スカパー！ サヨナラ賞」の最有力候補について聞くと、1位が清宮 幸太郎選手（北海道日本ハム）、2位が大山 悠輔選手（阪神）、3位が宮崎 敏郎選手（横浜 DeNA）という結果となりました《図表9》。

1位の清宮選手は、昨年の得点圏打率が.330と勝負どころでの一打に期待が集まっており、2位の大山選手も安定した打撃と勝負強さで支持を集めました。シーズン終盤や接戦での一打に対する期待が表れる結果になりました。

《図表9》2026年シーズン、サヨナラ打を決めてくれそうな「スカパー！サヨナラ賞」の最有力候補を教えてください。(SA/n=600)

選手名	票数
清宮 幸太郎（北海道日本ハム）	12.5%
大山 悠輔（阪神）	11.8%
宮崎 敏郎（横浜DeNA）	6.2%
栗原 陵矢（福岡ソフトバンク）	5.5%
頓宮 裕真（オリックス）	5.2%
高橋 周平（中日）	4.7%
山田 哲人（東京ヤクルト）	4.7%

■スカパー！ サヨナラ賞について

「スカパー！ サヨナラ賞」は、月間・年間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞です。

『試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！』から多くのファンにプロ野球中継最大の魅力を伝えることがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。



■スカパー！ プロ野球セットアプリが便利！

試合のライブ配信もスケジュールも選手名鑑も！
このアプリ1つでOK！

・ URL : <https://baseball.skyperfectv.co.jp/app/>



■スカパー!について

スカパー!は、スカパーJ S A T株式会社が提供する日本最大級の有料多チャンネル放送サービスです。スポーツ、映画、アニメ、音楽、バラエティなど多彩なジャンルの専門チャンネルを提供し、視聴者の多様なニーズに応えています。特にスポーツでは、サッカー、野球、ゴルフなど国内外の試合を生中継で楽しめる点が魅力になっています。1チャンネルから契約可能で、契約チャンネルは毎月自由に変更可能。ご加入月は無料でお楽しみいただけます。

また、番組は録画も可能なため繰り返し視聴でき、さらに「スカパー!番組配信」を使用すれば、スマホやタブレットでの視聴も可能です。ライフスタイルに合わせて柔軟にお楽しみいただけます。

スカパー!は2026年10月1日に30周年を迎えます。

これからもユーザーの“本気の好き”に、どこまでも深く寄り添い、視聴に留まらない「!」な体験をもっと広げてまいります。

■スカパーJ S A T株式会社について

スカパーJ S A Tは、宇宙事業とメディア事業を両輪とする国内唯一の「宇宙実業社」です。

宇宙事業では、アジア最多17機の静止軌道衛星を保有・運用し、放送や移動体向け通信、衛星データを活用したスペースインテリジェンス事業や「Universal NTN (Non-Terrestrial Network)」など様々なビジネスを展開しています。

メディア事業では、「スカパー!」などの放送・配信事業、光回線を経由した再送信サービスを提供する光アライアンス事業などを展開しています。また、Web3関連、グローバルIP事業にも新たに進出し、ビジネスの多角化を図っております。